

評価対象	具体的な評価項目	アンケート結果						考察 及び 次年度に向けて	学校評議員評価 (感想・意見・評価)												
		教員	1年	2年	3年	全体	保護者														
学力の向上	1 生徒の学力向上に向け、意欲的かつ計画的にきめ細かな指導を行っているか。 生徒：学習全般に対して達成感・満足感を持っているか。 保護者：全般についての取り組みをどのように感じているか。	A	B	A	A	A	A	○昨年度同様、学年が上がるにつれて生徒の達成感・満足感が上昇している。また、保護者の評価は今年度も良好である。 ①生徒の学力を適切に把握し、意欲的かつ計画的に学習するよう指導・支援を行う。 ②担任と教科担当者が情報を共有し、生徒の意欲を高め、学びに向かわせる方を工夫する。 ○生徒・保護者ともに授業内容についての満足度は高い。 ①コロナ禍で、生徒が主体的・対話的に参加する授業を行うことが難しかった。今後、形を変えながら主体性を高める授業を工夫する。 ②公開授業に関しても、今年度は職員間の研修のみになってしまったが、今後も一人ひとりが工夫を重ね、より良い授業を展開できるよう研鑽を重ねる。 ○今年度は全体的に低い評価になっているが、昨年度3月から休校による自宅学習が続き、特に1年生は学習方法も確立しないままであったため低い評価になったと思われる。 ①classiを有効利用する等、生徒一人ひとりに対し担任が個別に指導・支援する方法を工夫する。 ②各種試験の成績データを有効活用し、生徒が計画的な家庭学習に主体的に取り組むよう指導・支援する。 ○概ね高い評価になっているが、「わからない」と解答した保護者が一定数見受けられる。 ①習熟度別授業が生徒の学力を向上させるのに効果的かを検証し、各教科で教材、授業形態、進捗等を引き続き検討する。 ②学校HP等を利用して本校の取り組みに関する情報発信に努める。 ○生徒と保護者の満足度はまずまずである。生徒、保護者ともに若干満足度が増加し、否定的な回答の割合も若干減少している。 ①長期休業中の課外や土曜講座について、学年集会や進路通信「崖響」を通して、積極的に情報発信していく。 ②各教科ともに講座内容を検討し、より充実したものになるよう、引き続き努力していく。 ○生徒の評価、保護者の評価ともにまずまずの状況である。生徒の満足度は昨年より微増、保護者の満足度は比較的增加し、「あまり満足していない」との回答も減少した。 ①生徒対象の学年集会や保護者の学年部会、進路通信「崖響」等で、進路指導の取り組みについて積極的に知らせる。 ②生徒の適切な進路選択と学習意欲の向上に向けて進路指導の内容をさらに充実させていく。 ○2学年の部活動の満足度が例年よりも高く、全体でも同様の傾向が見られる。 ①引き続き生徒主体の自治的・自主的な活動を促すとともに、部活動のあり方について生徒と共に検討し、適切な助言を与え、活性化するよう努める。 ②引き続き保護者や地域の方々へ活動状況等を学校HP等を通して積極的に発信し、支援と理解を得る取り組みをさらに進めていくよう努める。なお、その際、動画等の積極的な活用も検討する。 ○今年度は学校行事の中止が相次いでいるが、昨年度に引き続き、保護者・生徒ともに本校の行事への満足度は高い。本校生徒の行事に取り組む姿勢が引き続き高い評価を得ている。 ①生徒が主体的に参加・運営できる体制を継続・進化させ、学校行事のさらなる充実を図る。また、学校行事が安全に、また安心して実施できるよう努めていく。 ②保護者や地域の方々へ学校HPを通して、行事のPRと事後報告の積極的な発信を継続する。なお、その際、動画等の積極的な活用も検討する。 ○全体的に高い評価である。 ①担任等が個々の生徒に対して面談等の充実を図る。 ②生徒がいろいろな相談ができるよう担任等が窓口となり、必要があればスクールカウンセラーを活用していく。 ○保護者に対して、学校の取り組みが周知されていない。 ①マナー・規範意識の向上のため、保護者・教職員が連携して、交通街頭指導等の学校行事に取り組み、現状を理解してもらう。 ②HPや学年通信等を活用して、情報提供を図る。 ○保護者・教員共に高い評価であるが、数値としては前年を下回っている。PTA行事の中止や縮小の影響が大きい。HPや学年・学級通信等での家庭への情報提供は例年通り。 ①HPのさらなる充実により学校行事等に関する情報提供を心掛け、学校の現状を知らせよう努めていく。 ②重要度の大きい連絡は一斉メール等も活用し、確実に情報提供する。 ○例年同様、生徒・保護者の満足度は高く、総合的に見て本校の教育活動は高い評価を得ていると言える。 ①きめ細かな学習指導・進路指導を実践し、一人一人に合った教育活動をより一層充実させるよう努める。 ②保護者や地域からの理解をより一層深めてもらえるよう、小まめな情報発信に努める。	a	a	a	a	a	a	・生徒・保護者からの期待が大きい学力向上に関して高い評価を得ていることは素晴らしい。学校の苦勞が報われ、教員の励みにもなると思う。 ・概ねA評価なので良いと思われるが、評価項目1・3に關して、他学年の生徒がAなのに対し、1学年生徒の評価がB・Cとなっているので、より努力が必要と思われる。コロナによる長期休業期間中の学習力(自己または自宅学習力)が低いと2年後が心配になる。 ・家庭学習に関して課題意識を持っている生徒・保護者の割合が、他の項目に比べて高い。自主学習力を育成するための環境作りや指導の工夫が必要ではないか。 ・コロナの影響も考慮し、オンラインでの指導の準備を進める必要があるのではないかと(学習指導以外も含めて)。 ・土曜講座に關して、1・2年生は受講を必須とし内容をより充実させ、3年生は選択制にしてみようか。 ・生徒一人一人に対し教員が親身に指導していることが高い評価につながっていると思う。学校に対する一番の望みは第一希望進路の実現だと思うので、今後も尽力してもらいたい。						
		2 生徒の興味・関心・意欲を喚起しながら、学力の定着に向け、様々な工夫をした授業を心がけているか。 生徒・保護者：全体として、授業内容に満足しているか。	A	A	A	A	A		A	a	a	a	a	a		a					
			3 生徒の家庭学習時間が増え、定着するよう工夫した指導を実践しているか。 生徒・保護者：計画的な家庭学習ができているか。	A	C	B	A		B	B	a	b	b	a		b	b				
	a			c	b	a	b		b	4 生徒の実態や課題に応じて、学力を向上させるために、積極的に取り組んでいるか。 生徒：生徒の実態に応じて学力を向上させる取り組みに満足しているか。 保護者：効果的な取り組みを行っているか	B	A	A	A		A	A	a	a	a	a
	5 長期休業中の課外や土曜講座の成果が上がるよう、様々な工夫をして取り組んでいるか。 生徒：全体的に満足しているか。 保護者：効果があるか。	A	A	A	A	A	A		a		a	a	a	a		a					
		a	a	a	a	a	a		6 生徒の適性や希望などを十分に把握しながら、適切な進路指導を実践しているか。 生徒・保護者：主体的な進路選択をする上で、本校の進路に関する援助に満足しているか。		A	A	A	A		A	A	a	a	a	a
	7 部活動を通じた人づくりにむけ、積極的な指導を実践しているか。 生徒：部・同好会活動について、積極的に参加しているか。 保護者：部活動・同好会に対する学校の取り組みをどう思うか。	A	A	A	B	A	A			a	a	b	b	b		a					
		8 生徒が学校行事や生徒会行事には積極的に参加し、充実感を友人とともに共有できるよう積極的に指導しているか。 生徒：満足しているか。 保護者：子息の満足度はどうか。	A	A	A	A	A			A	a	a	a	a		a	a				
			a	a	a	a	a		a	9 生徒が相談しやすい雰囲気作りができているか。 生徒：相談しやすい雰囲気があるか。	/	A	A	A		A	/	/	a	a	a
	10 マナーや規範意識を育む指導ができているか。	/	/	/	/	/	/		/		/	/	/	/		B					
		/	/	/	/	/	/		/		/	/	/	/		a					
	11 保護者との連携に努めているか。 保護者：教職員との連携に満足しているか。	A	/	/	/	/	/		/	/	/	/	/	A							
		a	/	/	/	/	/		a	/	/	/	/	a							
	12 生徒が充実した学校生活を送れるよう、適切な指導・援助を実践しているか。 生徒：現在の足高での学校生活に満足しているか。 保護者：本校に入学させて良かったと思っているか。	A	A	A	A	A	A		a	a	a	a	a	a							
		a	a	a	a	a	a		a	a	a	a	a	a							

評価基準	生徒・保護者 アンケートの①②合計の回答率	70%以上	A (十分に成果があった)	教員 アンケートの①②合計の回答率	80%以上	A (十分努力している)
	50%以上70%未満	B (成果があった)	60%以上80%未満	B (努力している)		
	30%以上50%未満	C (少し成果があった)	40%以上60%未満	C (あまり努力していない)		
	30%未満	D (成果がなかった)	40%未満	D (努力していない)		

*アンケート結果のアルファベットは次の通り。
上段：令和2年度(大文字)
中段：令和元年度(小文字)
下段：平成30年度(小文字)

評価対象	具体的な評価項目	アンケート結果						考察 及び 次年度に向けて	学校評議員評価 (感想・意見・評価)										
		教員	1年	2年	3年	全体	保護者												
学力の向上	1 生徒の学力向上に向け、意欲的かつ計画的にきめ細かな指導を行っているか。 生徒:学習全般に対して達成感・満足感を持っているか。 保護者:全般についての取り組みをどのように感じているか。	A	A	A	A	A	A	○学年が上がるにつれて達成感・満足感が上昇するとともに、今年度は全学年で達成感・満足感がAとなった。保護者からも引き続き良い評価を得ている。 ①生徒の学力を適切に把握し、個々に応じた指導・支援を引き続き行う。 ②今後も教科担任と学年・クラス担任が連携し、生徒を学びに向かわせる方策の工夫に努める。 ○授業内容に関しての満足度は高い。 ①アクティブ・スクールプランの成果を継承し、生徒が主体的に参加する授業づくりを推進する。 ②授業公開(研究)週間を校内研修の機会として活用するとともに、校外における教員対象の教育研究セミナー等へ積極的に参加することで、授業力の向上を図る。 ○学年が上がるにつれて評価が上がるのと同時に、今年度は1年生で昨年度より評価が向上した。 ①「自主学習の記録」を活用し、面談等を通して個に応じた指導・支援を引き続き行う。 ②各種試験の成績データを有効に活用し、生徒が計画的な家庭学習に主体的に取り組むよう指導・支援する。 ○概ね高い評価となっているが、「わからない」と解答した保護者が一定数見受けられる。 ①類型コースや習熟度別授業が、効果的に生徒の学力を向上させているか検証し、各検討委員会や教科で、教材、授業形態、進捗等を引き続き検討していく。 ②学校HP等を活用して、本校の取り組みに関する情報発信に努める。 ○生徒と保護者の満足度はまずまずである。生徒において若干満足度が減少し、保護者の満足度はほぼ横這いである。 ①長期休業中の課外や土曜講座について進路通信「崖響」などで取り上げ、積極的に情報発信していく。 ②各教科講座内容を検討し、より充実したものになるよう、引き続き努力していく。	a	b	b	a	b	a					
		a	b	b	b	b	a												
	2 生徒の興味・関心・意欲を喚起しながら、学力の定着に向け、様々な工夫をした授業を心がけているか。 生徒・保護者:全体として、授業内容に満足しているか。	A	A	A	A	A	A		○自主学習の記録について個人面談に活かすなど生徒とのコミュニケーションの道具としてよい。 ○学力の向上について生徒の学習レベルに応じたきめ細かな対応を継続してほしい。 ○土曜講座について生徒が意欲的に参加できるよう内容の工夫に努めてほしい。	a	a	a	a	a	a				
		a	a	a	a	a	a												
	3 生徒の家庭学習時間が増え、定着するよう工夫した指導を実践しているか。 生徒・保護者:計画的な家庭学習ができていますか。	A	B	B	A	B	B			○AO、推薦入試への対応について適切な事前指導に心がけてほしい。	a	c	b	a	b	b			
		a	c	b	a	b	b												
	4 生徒の実態や課題に応じて、学力を向上させるために、積極的に取り組んでいるか。 生徒:生徒の実態に応じて学力を向上させる取り組みに満足しているか。 保護者:効果的な取り組みを行っているか	A	A	A	A	A	B				○2学年・3学年ではB評価となっており、学年が上がるにつれ活動意欲が低下する傾向が顕著である。 ①生徒主体の自治的・自立的な活動を促すとともに、本校の今後の部活動について生徒と共に検討していく。 ②保護者や地域の方々へ活動状況等を学校HP等を通して積極的に発信し、支援と理解を得る取り組みをさらに進めていくよう努める。 ○昨年度に引き続き、保護者・生徒ともに満足度は高い。足高祭をはじめとして、本校生徒の行事への取り組み姿勢が高い評価を得ている。 ①生徒が主体的に参加・運営できる体制を継続・進化させ、学校行事のさらなる充実を図る。 ②保護者や地域の方々へ学校HPを通して、行事のPRと事後報告の積極的発信を継続する。	a	a	a	a	a	a		
		a	a	a	a	a	a												
	5 長期休業中の課外や土曜講座の成果が上がるよう、様々な工夫をして取り組んでいるか。 生徒:全体的に満足しているか。 保護者:効果があるか。	A	A	A	A	A	A					○いじめや情報モラルへの対応について生徒の実態把握に努め、教員間の情報共有や教育相談の充実など、いじめ等について見逃さない体制づくりが必要である。 ○学習環境について冬場のストーブ使用について柔軟な対応をお願いしたい。	a	a	a	a	a	a	
		a	a	a	a	a	a												
	6 生徒の適性や希望などを十分に把握しながら、適切な進路指導を実践しているか。 生徒・保護者:主体的な進路選択をする上で、本校の進路に関する援助に満足しているか。	A	A	A	A	A	A						○高い評価であるが、保護者に指導内容が周知されていない。 ①マナー・規範意識の向上のために保護者・職員が連携して交通街頭指導や情報モラル講習会等の学校行事に取り組み、マナー・規範意識の向上を図る。 ②HPや学年通信等を活用して情報提供を図る。 ○保護者・教員共に高い評価である。HPや学年・学級通信等で家庭への情報提供をこまめに行い、欠席連絡等の電話連絡の際にも可能な限り直接話そう努めている。 ①HPのさらなる充実により学校行事等に関する情報提供を心掛け、学校の現状を知らせよう努めていく。 ②学校からの配布物が生徒を通して確実に保護者に届くような指導に努める。	a	a	a	a	a	b
		a	a	a	a	a	b												
7 部活動を通じた人づくりにむけ、積極的な指導を実践しているか。 生徒:部・同好会活動について、積極的に参加しているか。 保護者:部活動・同好会に対する学校の取り組みをどう思うか。	A	A	B	B	B	A	○生徒・保護者からの満足度は高く、本校の教育活動について肯定的な評価を得ている。 ①生徒の学力向上に努め、一人一人の進路希望を実現するために、なお一層の指導体制の充実を図る。 ②本校の教育活動に対する理解を得るために、保護者や地域の方々へ適切に情報を発信していく。	a						a	b	b	b	a	
	a	a	a	b	b	a													
	8 生徒が学校行事や生徒会行事には積極的に参加し、充実感を友人とともに共有できるよう積極的に指導しているか。 生徒:満足しているか。 保護者:子息の満足度はどうか。	A	A	A	A	A		A	○全体的に高い評価である。 ①担任等が個々の生徒に対して面談の充実を図る。 ②生徒に相談の窓口を周知し、スクールカウンセラーの有効活用を図る。					a	a	a	a	a	a
		a	a	a	a	a		a											
9 生徒が相談しやすい雰囲気作りができていますか。 生徒:相談しやすい雰囲気があるか。	/	A	A	A	A	/		○学習環境について冬場のストーブ使用について柔軟な対応をお願いしたい。		/				a	a	a	a	/	
	/	a	a	a	a	/				/				a	a	a	a	/	
10 マナーや規範意識を育む指導ができていますか。	/	/	/	/	/	A				○保護者・教員共に高い評価である。HPや学年・学級通信等で家庭への情報提供をこまめに行い、欠席連絡等の電話連絡の際にも可能な限り直接話そう努めている。 ①HPのさらなる充実により学校行事等に関する情報提供を心掛け、学校の現状を知らせよう努めていく。 ②学校からの配布物が生徒を通して確実に保護者に届くような指導に努める。	/			/	/	/	/	A	
	/	/	/	/	/	a					/			/	/	/	/	a	
11 保護者との連携に努めているか。 保護者:教職員との連携に満足しているか。	A	/	/	/	/	A					○保護者・教員共に高い評価である。HPや学年・学級通信等で家庭への情報提供をこまめに行い、欠席連絡等の電話連絡の際にも可能な限り直接話そう努めている。 ①HPのさらなる充実により学校行事等に関する情報提供を心掛け、学校の現状を知らせよう努めていく。 ②学校からの配布物が生徒を通して確実に保護者に届くような指導に努める。	a		/	/	/	/	A	
	a	/	/	/	/	a						a		/	/	/	/	a	
12 生徒が充実した学校生活を送れるよう、適切な指導・援助を実践しているか。 生徒:現在の足高での学校生活に満足しているか。 保護者:本校に入学させて良かったと思っているか。	A	A	A	A	A	A						○学習環境について冬場のストーブ使用について柔軟な対応をお願いしたい。	a	a	a	a	a	a	
	a	a	a	a	a	a							a	a	a	a	a	a	

評価基準	生徒・保護者 アンケートの①②合計の回答率	教員 アンケートの①②合計の回答率	*アンケート結果のアルファベットは次の通り。
	70%以上 A (十分に成果があった)	80%以上 A (十分努力している)	上段:令和元年度(大文字)
	50%以上70%未満 B (成果があった)	60%以上80%未満 B (努力している)	中段:平成30年度(小文字)
	30%以上50%未満 C (少し成果があった)	40%以上60%未満 C (あまり努力していない)	下段:平成29年度(小文字)
	30%未満 D (成果がなかった)	40%未満 D (努力していない)	

評価対象	具体的な評価項目	アンケート結果						考察 及び 次年度に向けて	学校評議員評価 (感想・意見・評価)	
		教員	1年	2年	3年	全体	保護者			
学力の向上	1 生徒の学力向上に向け、意欲的かつ計画的にきめ細かな指導を行っているか。 生徒:学習全般に対して達成感・満足感を持っているか。 保護者:全般についての取り組みをどのように感じているか。	A	B	B	A	B	A	○この2年間、2学年から3学年にかけて生徒の達成感・満足感が上昇している。本校の学習指導体制が功を奏していると考えられる。保護者からも昨年度に引き続き良い評価を得ている。 ①生徒の学力を適切に把握し、各生徒が満足できるきめ細かい指導を継続して行う。 ②生徒面談をこまめに行うことにより、生徒の学習に対するモチベーションを高める。	・土曜補習について 生徒の自由記述の中に土曜補習の内容などについての要望等が散見される。月に1、2回程度であるが、実施することで生徒の学習習慣の確立や学力の向上につながると思う。しかし、土曜補習は生徒が積極的に参加できるような工夫もさらに必要である。 例えば、生徒が必要な講座や習熟度に応じた講座をとれるようにするのはどうか。生徒の土曜補習に対するモチベーションの向上が期待できるのではないか。 土曜補習の内容については、ホームページなどで保護者にも知らせてほしい。また、情報を発信することで足高のPRにもなる。	
		a	b	b	b	b	a			
		a	b	c	b	b	a			
	2 生徒の興味・関心・意欲を喚起しながら、学力の定着に向け、様々な工夫をした授業を心がけているか。 生徒・保護者:全体として、授業内容に満足しているか。	A	A	A	A	A	A	○授業内容に関しての満足度は高い。 ①アクティブ・ラーニングの研究を進め、生徒が主体的に考える授業づくりを推進する。 ②校内授業研究会の開催や教員対象の教育研究セミナーへ積極的に参加することで授業力の向上を図る。		
		a	a	a	a	a	a			
		a	a	a	a	a	a			
	3 生徒の家庭学習時間が増え、定着するよう工夫した指導を実践しているか。 生徒・保護者:計画的な家庭学習ができているか。	A	C	B	A	B	B	○学年が上がるにつれ、計画的な学習習慣が身につく、良い評価になっていることがわかる。 ①「自主学習の記録」を活用し、学習習慣が不十分な生徒についてはすぐに面談等で対応し、学習状況の確認や学習意欲の向上を図る。 ②1学年から計画的に家庭学習に取り組むことができるよう、受験勉強開始時期と合格可能性のデータ等を活用し指導していく。		
		a	c	b	a	b	b			
		a	c	c	a	b	b			
	4 生徒の実態や課題に応じて、学力を向上させるために、積極的に取り組んでいるか。 生徒:生徒の実態に応じて学力を向上させる取り組みに満足しているか。 保護者:効果的な取り組みを行っているか	A	A	A	A	A	A	○項目2同様、生徒・保護者から高い評価を得ている。 ①類型コースや習熟度別授業が、効果的に生徒の学力を向上させているかを継続して検証し、各検討委員会や教科で、教材、授業形態、進捗等を引き続き検討していく。 ②授業以外の補習や課題等についても、生徒の実態に応じた指導法を研究していく。		
		a	a	a	a	a	a			
		a	a	a	a	a	b			
	5 長期休業中の課外や土曜補習の成果が上がるよう、様々な工夫をして取り組んでいるか。 生徒:全体的に満足しているか。 保護者:効果があるか。	A	A	A	A	A	A	○長期休業中の課外や土曜の補習授業についての評価は全体的に高いが、昨年度と比較すると、保護者の評価において「大変効果がある」という数値が若干減少し、「わからない」の数値が若干増加している。 ①課外や補習授業で行われている内容を進路通信「崖響」などを通して保護者に説明していく。 ②各教科で課外・補習授業の内容を検討し、より充実したものになるよう、引き続き努力していく。		
		a	a	a	a	a	a			
		a	a	a	a	a	a			
進路指導の充実	6 生徒の適性や希望などを十分に把握しながら、適切な進路指導を実践しているか。 生徒・保護者:主体的な進路選択をする上で、本校の進路に関する援助に満足しているか。	A	A	A	A	A	B	○生徒の満足度は高いが、保護者の評価は若干低い。また、保護者においては「わからない」という回答が比較的多く、特に1、2年生の保護者に多い。 ①進路通信「崖響」や学年通信などで、進路指導の取り組みを積極的に知らせる。特に1、2年生の保護者に回数を増やすなどしてさらに知らせていく必要がある。 ②生徒の適切な進路選択と学習意欲の向上に向けて進路指導の内容をさらに充実させていく。		
		a	a	a	a	a	b			
		a	a	a	a	a	b			
教科外教育活動の活発化	7 部活動を通じた人づくりにむけ、積極的な指導を実践しているか。 生徒:部・同好会活動について、積極的に参加しているか。 保護者:部活動・同好会に対する学校の取り組みをどう思うか。	A	A	B	B	B	A	○生徒全体でB評価となっている。ここ2～3年同様の傾向が見られ、学年が上がるにつれ評価が下がる傾向にある。活動意欲の低下が懸念される。 ①部活動の意義について考えさせ、生徒主体の自治的・自立的な活動を促す。 ②保護者や地域の方々へ活動状況等を学校HP等を通して積極的に発信し、支援と理解を得る取り組みをさらに進めていく。	・ホームページについて 足高の情報発信にホームページをもっと活用してほしい。 保護者はホームページをよく閲覧している。こまめに更新が必要である。一週間に1回は更新してほしい。 ホームページを管理する専門のスタッフも必要なのではないか。	
		a	a	a	b	b	a			
		a	a	b	b	b	a			
	8 生徒が学校行事や生徒会行事には積極的に参加し、充実感を友人とともに共有できるよう積極的に指導しているか。 生徒:満足しているか。 保護者:子息の満足度はどうか。	A	A	A	A	A	A			○保護者・生徒ともに満足度は高い。特に今年度は、対抗戦本戦の勝利が生徒の満足度をより高め、また、保護者からもそのような生徒の取り組み姿勢等が評価されたと思われる。 ①生徒が計画段階から積極的に関わり、主体的に参加・運営できる体制を継続・進化させる。 ②保護者や地域の方々へ学校HPを通して、行事のPRと事後報告を積極的に発信し、さらなる理解を図る。
		a	a	a	a	a	a			
		a	a	a	a	a	a			
連携教育相談生徒指導	9 生徒が相談しやすい雰囲気作りができているか。 生徒:相談しやすい雰囲気があるか。	/	A	A	A	A	/	○全体的に高い評価である。 ①担任等の面談の充実を図る。 ②生徒に相談の窓口を周知し、スクールカウンセラーの有効活用を図る。	・スマホについて 利用の仕方には注意が必要だが、メールは活用できる。スマホに対する考え方を考えるべきではないか。生徒の目線で物事を考えることが大切である。 また、子供から学校の連絡が届かないことがある。学校からの案内・通知など、緊急メール配信以外でもメールを活用することはできないか。他校でも行っている。	
		/	a	a	a	a	/			
		/	a	b	a	a	/			
	10 マナーや規範意識を育む指導ができているか。	/	/	/	/	/	A			○高い評価であるが、保護者に指導内容が周知されていないため、「わからない」という回答が多くみられた。 ①マナー・規範意識の向上のために保護者・職員が連携して交通街頭指導や情報モラル講習会等の学校行事に取り組み、生徒指導の徹底を図る。 ②HPや学年通信等を活用して情報提供に心がける。
		/	/	/	/	/	b			
		/	/	/	/	/	a			
11 保護者との連携に努めているか。 保護者:教職員との連携に満足しているか。	A	/	/	/	/	A	○保護者・教員とも高い評価である。家庭への情報提供のための広報活動に努めている。 ①HPをさらに充実させ、家庭へのよりいっそうの情報提供に努めていく。 ②学校行事(PTA総会、学年会等)での情報提供や情報交換等に心がけ、学校の現状を知らせていく。			
	a	/	/	/	/	a				
	a	/	/	/	/	a				
総括的評価	12 生徒が充実した学校生活を送れるよう、適切な指導・援助を実践しているか。 生徒:現在の足高での学校生活に満足しているか。 保護者:本校に入学させて良かったと思っているか。	A	A	A	A	A	A	○生徒・保護者からの満足度は共に高く、本校の教育活動が高く評価されている。 ①生徒の学力向上に努めるとともに、一人一人の進路希望を実現するための指導体制の充実を図る。 ②本校の教育活動に対する理解を得るために、保護者や地域の方々の要望等に適切に対応していく。		
		a	a	a	a	a	a			
		a	a	a	a	a	a			

評価基準	生徒・保護者 アンケートの①②合計の回答率	教員 アンケートの①②合計の回答率	*アンケート結果のアルファベットは次の通り。
	70%以上 A (十分に成果があった)	80%以上 A (十分努力している)	上段:平成30年度(大文字)
	50%以上70%未満 B (成果があった)	60%以上80%未満 B (努力している)	中段:平成29年度(小文字)
	30%以上50%未満 C (少し成果があった)	40%以上60%未満 C (あまり努力していない)	下段:平成28年度(小文字)
	30%未満 D (成果がなかった)	40%未満 D (努力していない)	

評価対象	具体的な評価項目	アンケート結果						考察 及び 次年度に向けて	学校評議員評価 (感想・意見・評価)						
		教員	1年	2年	3年	全体	保護者								
学力の向上	1 生徒の学力向上に向け、意欲的かつ計画的にきめ細かな指導を行っているか。 生徒:学習全般に対して達成感・満足感を持っているか。 保護者:全般についての取り組みをどのように感じているか。	A	B	B	B	B	A	・2学年での達成感・満足感が向上した。また保護者からも高い評価を得られている。 ①生徒の学力を適切に把握し、生徒が主体的に学習活動を行うことができるよう支援する。 ②各学年における目標を明確にし、段階的に学習できるような環境作りを推進する。	・生徒の評価がBであるので、更に多くの生徒が満足するように今後も、習熟度別学習等の取組を工夫して欲しい。						
	2 生徒の興味・関心・意欲を喚起しながら、学力の定着に向け、様々な工夫をした授業を心がけているか。 生徒・保護者:全体として、授業内容に満足しているか。	A	A	A	A	A	A			・授業内容に関する満足度は高い。 ①コースに応じて教科の達成目標や学習内容を明確にして、更なる学力の向上を図る。 ②校内授業研究会の開催や教員対象の教育研究セミナーへ積極的に参加することで授業力の向上を図る。	・1年生が3年続けてCの評価が気になる。学習への取組が本気になるのが遅いので、早くなるような方策を検討して欲しい。				
	3 生徒の家庭学習時間が増え、定着するよう工夫した指導を実践しているか。 生徒・保護者:計画的な家庭学習ができているか。	A	C	B	A	B	B					・1学年においては計画的に家庭学習に取り組む状況が改善されていないが、2学年においては昨年度より状況が向上した。受験を意識した3学年では例年通り計画的に学習に取り組んでいる。 ①「自主学習の記録」を活用し、面談による学習状況の確認や学習意欲の向上を図る。 ②1学年から計画的に家庭学習に取り組むことができるよう面談やLHR等を使い指導する。	・「自主学習の記録」の活用を、初期指導で徹底させることが重要である。		
	4 生徒の実態や課題に応じて、学力を向上させるために、積極的に取り組んでいるか。 生徒:生徒の実態に応じて学力を向上させる取り組みに満足しているか。 保護者:効果的な取り組みを行っているか	A	A	A	A	A	A							・学力向上のための取り組みに対する満足度は、生徒全学年、保護者、教員ともに前年度より向上し高い評価を得ている。 ①類型コースや習熟度別授業が、効果的に生徒の学力を向上させているか検証し、各検討委員会や教科で、教材、授業形態、進捗等を引き続き検討していく。 ②校内模試、実力テストが生徒の学力向上に有効に活用されているか再検討する。	・多くの保護者が、子どもを本校に入学させて良かったと思っているようなので、良かったと思う。
	5 長期休業中の課外や土曜補習の成果が上がるよう、様々な工夫をして取り組んでいるか。 生徒:全体的に満足しているか。 保護者:効果があるか。	A	A	A	A	A	A								
6 生徒の適性や希望などを十分に把握しながら、適切な進路指導を実践しているか。 生徒・保護者:主体的な進路選択をする上で、本校の進路に関する援助に満足しているか。	A	A	A	A	A	B	・生徒全学年、保護者、教員ともに前年度より向上し高い評価を得ている。特に生徒評価においては満足している生徒が1年98%、2年100%、3年96%を示している。しかし、保護者評価が昨年度よりは向上したものの他に比べやや低い。 ①保護者会等での進路指導部の説明を充実させる。 ②足高進路通信「崖響」で情報公開のさらなる充実を図る。 ③大学入試改革に対する対応策を検討し、生徒・保護者等に周知していく。	・土曜補習実施の意義を、教員間で共通認識し、教科内での目的を明確にすることが重要であると思う。							
教科外教育活動の 活発化	7 部活動を通じた人づくりにむけ、積極的な指導を実践しているか。 生徒:部・同好会活動について、積極的に参加しているか。 保護者:部活動・同好会に対する学校の取り組みをどう思うか。	A	A	A	B	B			A	・2学年の生徒の評価が昨年よりも向上し、3学年の生徒の評価も部活動加入者の中では8割以上の生徒が積極的に参加をしていると評価しており、上昇傾向がみられる。 ①部活動は技術力の向上だけでなく精神面の成長も図れることを生徒に伝え、より積極的に取り組む気風を醸成する。 ②学習への取組と部活動とのメリハリをつけ、文武両道の実践を目指す。					
	8 生徒が学校行事や生徒会行事には積極的に参加し、充実感を友人とともに共有できるよう積極的に指導しているか。 生徒:満足しているか。 保護者:子息の満足度はどうか。	A	A	A	A	A			A			・すべての評価において高い評価を得られている。 ①行事の実施方法を生徒がより積極的に参加できるように工夫・改善する。 ②学校行事の取組状況をホームページや各種の通信を通じて公開し、より開かれた学校を目指す。			
連携 教育相談 生徒指導	9 生徒が相談しやすい雰囲気作りができているか。 生徒:相談しやすい雰囲気があるか。	/	A	A	A	A			/	・全学年とも高い評価である。 ①生徒に相談窓口を周知し、相談室の活用を図る。 ②担任を中心とした面談の充実とともにスクールカウンセラーの有効活用を図る。					
	10 マナーや規範意識を育む指導ができているか。	/	/	/	/	/			/			B	・評価において、前年度より低い評価になっている。学校の取り組みの理解、また生徒の実態把握のために、保護者が積極的に行事に参加できるよう工夫する。 ①保護者・教員が連携して交通街頭指導の充実を図る。 ②マナー向上においては、学校行事(交通講話等)やHRにおける指導の徹底を図る。 ③社会の一員として責任ある行動がとれるよう規範意識を高めていく指導を重ねていく。		
	11 保護者との連携に努めているか。 保護者:教職員との連携に満足しているか。	A	/	/	/	/	/	A	・高い評価である。学校の様子が家庭に伝わるよう様々な方法で広報活動をしていく。 ①PTA総会や学年保護者会等で情報提供・情報交換をして学校の現状を知らせていく。 ②学校の様子がわかるようにホームページ等を活用して情報共有に努める。						
総括的評価	12 生徒が充実した学校生活を送れるよう、適切な指導・援助を実践しているか。 生徒:現在の足高での学校生活に満足しているか。 保護者:本校に入学させて良かったと思っているか。	A	A	A	A	A	A	・昨年と同様に、生徒の8割、保護者の9割以上が満足している・良かったと評価している。 ①授業の充実を図るために、今まで以上に教材研究や授業展開を工夫する。 ②学習指導や進路指導において、きめ細かな指導を実践し生徒一人一人に合った教育活動を充実させる。また、その活動状況を公開し保護者や地域に理解される情報発信に努める。							
	a	a	a	a	a	a									
	a	a	a	a	a	a									

評価基準	生徒・保護者 アンケートの①②合計の回答率	教員 アンケートの①②合計の回答率	* アンケート結果のアルファベットは次の通り。
	70%以上 A (十分に成果があった)	80%以上 A (十分努力している)	上段:平成29年度(大文字)
	50%以上70%未満 B (成果があった)	60%以上80%未満 B (努力している)	中段:平成28年度(小文字)
	30%以上50%未満 C (少し成果があった)	40%以上60%未満 C (あまり努力していない)	下段:平成27年度(小文字)

H28学校評価(アンケート結果)

評価対象	具体的な評価項目	アンケート結果						考察 及び 次年度に向けて	学校評議員評価 (感想・意見・評価)
		教員	1年	2年	3年	全体	保護者		
学力の向上	1 生徒の学力向上に向け、意欲的かつ計画的にきめ細かな指導を行っているか。 生徒:学習全般に対して達成感・満足感を持っているか。 保護者:全般についての取り組みをどのように感じているか。	A	B	C	B	B	A	・2学年での達成感・満足感が低くなっている。保護者の9割からは高い評価を得られている。その他は例年通り。 ①生徒の学力を適切に把握し、個に応じた適切な学習活動を支援する。 ②引き続きICT機器の活用等により、生徒が主体的に学び合う学習環境作りを推進する。 ・授業内容に関しての満足度は高い。 ①コースに応じて教科の達成目標や学習内容を明確にして、更なる学力の向上を図る。 ②今後も、校内授業研究会の開催や教員対象の教育研究セミナーへの参加を推進することにより、効果的な指導方法の継続的な工夫改善を図る。 ・1, 2学年の計画的な家庭学習の取組状況が低い、3学年では受験準備もあり計画的に学習に取り組んでいる。 ①自学自習の態度を養うため、「自主学習の記録」の効果的な活用の研究を進める。 ②面談等による学習への取組状況の確認や学習意欲の向上を図る。 ・学力向上のための取り組みに対する満足度は概ね高い。 ①保護者に対して、学校の目標を明示し、授業公開等を通して開かれた学校環境を作る。 ②1学年選抜クラスの検証を継続し、各コースのあり方や習熟度別授業についても検討する。 ・課外や土曜補習についての満足度は高い。約85%の生徒、90%の保護者から高い評価を得ている。ただし、内容・方法等についての改善意見もあるので、検討が必要である。 ①各教科で土曜補習の目的を再度明確にし、実施内容について研究する。 ②進路指導部で各学年・教科と連携をとり、さらに成果が上がるように実施時間・方法等工夫する。 ・生徒・教員とも9割以上から高い評価を得ている。保護者への進路情報の提供が少ないとの意見もあるので検討が必要である。 ①保護者会等での進学状況や進路学習の計画を丁寧に説明し、保護者の理解を得る。 ②担任と進路指導部で連携し、進路相談や進路学習の充実を図る。 ③進路指導室を有意義に活用できるよう整備する。 ・1学年の生徒の評価が高く、学年が進むにつれて評価が下がる傾向にある。 ・部活動と学習の効率的な時間の使い方については、今後検討が必要である。 ①部活動を通じた人づくりをさらに推進していくために、教職員が人格の陶冶の大切さを生徒に伝え、校内での風気を醸成する。 ②学習への取組とのバランスを工夫し、文武両道を実践する。 ・高い満足度が現れているが、2学年の修学旅行に関しては改善意見も見られる。 ①生徒の活動がより活発になるように、行事の内容等をさらに工夫する。 ②学校の活動内容をホームページに公開し、より開かれた学校を目指す。 ③修学旅行に関して、他校の情報や、生徒・保護者の意見を把握し検討を進める。 ・生徒の約8割、保護者の約9割から満足しているとの高い評価をいただいている。特に、生徒・保護者ともに高いのが1学年であり、若干であるが満足度が低いのが2学年である。 ①各部との連携を図り、教職員の意識を高め生徒の活動がより活性化するための委員会を立ち上げ検討していく。 ②きめ細やかな指導を実践し、生徒の個々の伸長に目を向けた教育活動を充実させる。 ・概ね高い評価を得ているが、学校の様子が家庭に伝わっていないとの意見もある。 ①PTA総会や学年保護者会等で、情報提供・情報交換をして学校の現状を知らせる工夫をする。 ②保護者面談等で、生徒についての情報を共有する機会を今後とも大切にしながら、連携を進めていく。 ・1, 3学年は高い評価であるが、2学年が67%と若干低い。 ①生徒に相談の窓口(教育相談係)を周知し、相談室の活用を図る。 ②担任を中心として面談の充実を図る。 ・高い評価であるが、わからないという評価も18%あるので、本校の取組を理解してもらう工夫が必要である。 ①交通指導については、保護者と教員が連携して街頭指導を充実させる。学校においては全体集会(交通講話等)やホームルームにおける指導を徹底し交通事故を防止する。 ②社会の一員として、責任ある態度がとれるよう、規範意識を高める指導を重ねていく。	・1年次より進学校の生徒として自覚させる指導が必要であると思われる。 ・すべてのことにおいて、同じことをやっていては同じことになってしまう、という共通認識を持って教育にあたってもらいたい。 ・入学してから、学習時間が増えることは、指導の成果を現している。塾での学習時間も把握する必要がある。 ・あと一押しすればできる生徒への指導を課外授業等を実施するなど、細かな指導を行っているところはいいところなので、更に充実させて欲しい。 ・「自主学習の記録」について、1週間単位で、目標を立て、内容を記録する方がよいのではないか。 ・中学生の本校志望に関するデータを調査する必要があるのではないか。
	2 生徒の興味・関心・意欲を喚起しながら、学力の定着に向け、様々な工夫をした授業を心がけているか。 生徒・保護者:全体として、授業内容に満足しているか。	A	A	A	A	A	A		
	3 生徒の家庭学習時間が増え、定着するよう工夫した指導を実践しているか。 生徒・保護者:計画的な家庭学習ができていますか。	A	C	C	A	B	B		
	4 生徒の実態や課題に応じて、学力を向上させるために、積極的に取り組んでいるか。 生徒:生徒の実態に応じて学力を向上させる取り組みに満足しているか。 保護者:効果的な取り組みを行っているか	A	A	A	A	A	B		
	5 長期休業中の課外や土曜補習の成果が上がるよう、様々な工夫をして取り組んでいるか。 生徒:全体的に満足しているか。 保護者:効果があるか。	A	A	A	A	A	A		
6 生徒の適性や希望などを十分に把握しながら、適切な進路指導を実践しているか。 生徒・保護者:主体的な進路選択をする上で、本校の進路に関する援助に満足しているか。	A	A	A	A	A	B			
教科外教育活動の 活発化	7 部活動を通じた人づくりにむけ、積極的な指導を実践しているか。 生徒:部・同好会活動について、積極的に参加しているか。 保護者:部活動・同好会に対する学校の取り組みをどう思うか。	A	A	B	B	B	A		
	8 生徒が学校行事や生徒会行事には積極的に参加し、充実感を友人とともに共有できるよう積極的に指導しているか。 生徒:満足しているか。 保護者:子息の満足度はどうか。	A	A	A	A	A	A		
9 生徒が充実した学校生活を送れるよう、適切な指導・援助を実践しているか。 生徒:現在の足高での学校生活に満足しているか。 保護者:本校に入学させて良かったと思っているか。	A	A	A	A	A	A			
連携 教育相談 生徒指導	10 保護者との連携に努めているか。 保護者:教職員との連携に満足しているか。	A					A		
	11 生徒が相談しやすい雰囲気作りができていますか。 生徒:相談しやすい雰囲気があるか。		A	B	A	A			
	12 マナーや規範意識を育む指導ができていますか。						A		

評価基準	生徒・保護者 アンケートの①②合計の回答率	教員 アンケートの①②合計の回答率	* アンケート結果のアルファベットは次の通り。
	70%以上 A (十分に成果があった)	80%以上 A (十分努力している)	上段:平成28年度(大文字)
	50%以上70%未満 B (成果があった)	60%以上80%未満 B (努力している)	中段:平成27年度(小文字)
	30%以上50%未満 C (少し成果があった)	40%以上60%未満 C (あまり努力していない)	下段:平成26年度(小文字)

H27学校評価(アンケート結果)

評価対象	具体的な評価項目	アンケート結果						考察 及び 次年度に向けて	学校評議員評価 (感想・意見・評価)	
		教員	1年	2年	3年	全体	保護者			
学力の向上	1 生徒の学力向上に向け、意欲的かつ計画的にきめ細かな指導を行っているか。 生徒:学習全般に対して達成感・満足感を持っているか。 保護者:全般についての取り組みをどのように感じているか。	A	B	B	B	B	A	・生徒が達成感、満足感を持てるよう、さらなる工夫が必要である。 ①「わかる・できた」の積み重ねと、演習時間の確保、生徒自ら意欲的に学習に向かうことの出来る指導の工夫を図る。 ②ICT機器を活用するなど、生徒が主体的に学び合う授業作りを推進する。	・「家庭学習に関する評価」に教員と生徒のギャップがある。評価に関して検討が必要。 ・学習時間で評価するのではなく、内容・密度ではかる工夫が大切。生徒の意識改革が必要である。 ・平成28年度高校入試結果の検証を進めてほしい。 ・足利高校は様々なことに取り組んでいて、生徒を伸ばしている。生徒の伸び率をアピールしてほしい。 ・ICTの活用は学習の入り口・動機付けに過ぎない。深い思考に結びつく活用をお願いしたい。 ・保護者の視点を意識してPRしたり、保護者にも参画してもらえると学校に対する理解が深まる。	
	2 生徒の興味・関心・意欲を喚起しながら、学力の定着に向け、様々な工夫をした授業を心がけているか。 生徒・保護者:全体として、授業内容に満足しているか。	A	A	A	A	A	A	・授業に対する満足度は高い。 ①アクティブラーニングを取り入れた授業展開を心懸ける。 ②授業研究会や教科内研究を充実させ、効果的な指導方法の継続的な工夫・改善を図る。		
	3 生徒の家庭学習時間が増え、定着するよう工夫した指導を実践しているか。 生徒・保護者:計画的な家庭学習ができていますか。	A	C	B	B	B	B	・計画的な家庭学習をさせるための工夫は、重要な課題である。 ①効率的な学習方法の指導を継続し、密度の濃い家庭学習をさせる。 ②担任面談の時間を確保する。		
	4 生徒の実態や課題に応じて、学力を向上させるために、積極的に取り組んでいるか。 生徒:生徒の実態に応じて学力を向上させる取り組みに満足しているか。 保護者:効果的な取り組みを行っているか	A	A	A	A	A	A	・学力向上のための方策に対する満足度は高いが、実態や課題を検証し続ける。 ①1年次の選抜クラスについての検証を継続する。 ②習熟度別授業、類型クラスの在り方について引き続き検討する。		
	5 長期休業中の課外や土曜補習の成果が上がるよう、様々な工夫をして取り組んでいるか。 生徒:全体的に満足しているか。 保護者:効果があるか。	A	A	A	A	A	A	・各学年担任と進路指導部で情報交換を図り、組織的に取り組んでいく。 ①教科内で課外の実施方法や教材、内容等を研究する。 ②苦手克服、難問対策、中間層の引き上げ等、必要なテーマに合わせた課外や補習を設定する。		
進路指導の充実	6 生徒の適性や希望などを十分に把握しながら、適切な進路指導を実践しているか。 生徒・保護者:主体的な進路選択をする上で、本校の進路に関する援助に満足しているか。	A	A	A	A	A	B	・生徒からの評価は高いので、更にキャリア教育を工夫・充実させていく。保護者に対しては、保護者会やホームページ等を通じて進路情報を発信していく機会を増やす。 ①職業進路講演会や大学出前講義、卒業生体験発表会、大学訪問等の発展・充実を図り、進路研究に積極的に取り組ませる。 ②各学年に応じた進路情報を、様々な機会を通じて保護者に提供する。	・SSHに関しては、さらにプログラムを検討し、比較・応用・発展させ、自分たちの中で研究を消化させていくと良い。	
	7 部活動を通じた人づくりにむけ、積極的な指導を実践しているか。 生徒:部・同好会活動について、積極的に参加しているか。 保護者:部活動・同好会に対する学校の取り組みをどう思うか。	A	A	A	A	A	A	・部活動に対しての参加状況は積極的で、取り組みに対する評価は高い。 ①部活動を通じた人づくりを推進していくために、効率的な時間の使い方を研究する。 ②顧問会議等で、安全な部活動指導ができるよう研修会を実施し、生徒や保護者へも情報を提供する。		・SSHでの英語での発表は、海外を意識した広い視野での学力、環境適応能力、コミュニケーション能力を向上させるので良い。
		8 生徒が学校行事や生徒会行事には積極的に参加し、充実感を友人とともに共有できるよう積極的に指導しているか。 生徒:満足しているか。 保護者:子息の満足度はどうか。	A	A	A	A	A	A		
総括的評価	9 生徒が充実した学校生活を送れるよう、適切な指導・援助を実践しているか。 生徒:現在の足高での学校生活に満足しているか。 保護者:本校に入学させて良かったと思っているか。	A	A	A	A	A	A	・全体的に高い評価をいただいている。 ①人権教育や主権者教育を計画的に行い、公民的資質の向上を図る。 ②各部(生徒・学習・進路・特別活動指導)の連携を図り、生徒個々の伸長に目を向けた教育活動を充実させる。		
	10 保護者との連携に努めているか。 保護者:教職員との連携に満足しているか。	A	/	/	/	/	A	・保護者との連携に努め、個に合った指導ができるようにする。 ①電話等での連絡や学級懇談、保護者面談等を通じて情報交換を密に行い、連携を深める。	*アンケート結果のアルファベットは次の通り。 上段:平成27年度(大文字) 中段:平成26年度(小文字) 下段:平成25年度(小文字)	
		11 生徒が相談しやすい雰囲気作りができていますか。 生徒:相談しやすい雰囲気があるか。	/	A	A	A	A	/		・生徒が相談しやすい雰囲気作りに努める。 ①面接週間や担任に限らず、生徒の必要に応じて対応できる体制を作る。
12 マナーや規範意識を育む指導ができていますか。	/	/	/	/	/	A	・保護者との共通理解や連携のもとに、マナーや規範意識を育む指導を推進する。 ①交通マナーやスマートフォン等の使用をはじめ、学校生活全般で適切な振る舞いができるように指導を継続する。			

評価基準	生徒・保護者 アンケート下の①②合計の回答率	教員 アンケート下の①②合計の回答率	
	70%以上 A (十分に成果があった)	80%以上 A (十分努力している)	
	50%以上70%未満 B (成果があった)	60%以上80%未満 B (努力している)	
	30%以上50%未満 C (少し成果があった)	40%以上60%未満 C (あまり努力していない)	
	30%未満 D (成果がなかった)	40%未満 D (努力していない)	

*評価対象「連携・教育相談・生徒指導」の10～12の項目は、平成26年度からの設問なので、下段の小文字はありません。

評価対象	具体的な評価項目	アンケート結果						考 察 ()内の数値は昨年度の結果(%)	次年度に向けて
		教員	1年	2年	3年	全体	保護者		
学力の向上	1 生徒の学力向上に向け、意欲的かつ計画的にきめ細かな指導を行っているか。 生徒:学習全般に対して達成感・満足感を持っているか。 保護者:全般についての取り組みをどのように感じているか。	A a a	B b b	B a b	B b b	B b b	A a a	教:「十分」「そうしている」が97.4%(97.6)。 生:「大いに」「持っている」が62.0%(59.8)。 保:「取り組んでいる」が88.5%(87.8%)。 【生徒保護者の評価ポイント微増】	・学力向上を果たしている生徒が多い中、満足感を持っていない生徒が多い。これは、更なる向上を望む意識の表れと判断できる。 ①「わかる・できた」の積み重ねと、演習時間の確保、生徒自ら意欲的に学習に向かうことの出来る指導の工夫を図る。 ②担任面談の時間を確保する。
	2 生徒の興味・関心・意欲を喚起しながら、学力の定着に向け、様々な工夫をした授業を心がけているか。 生徒・保護者:全体として、授業内容に満足しているか。	A a a	A a a	A a a	A a a	A a a	A a a	教:「十分」「そうしている」が100%(100)。 生:「満足している」が82.5%(79.1)。 保:「信頼できる」が80.5%(81.5)。 【生徒の満足度向上】	・教員の授業力をさらに向上させ、学業指導の充実を図る。 ①授業研究会や教科内研究を充実させ、効果的に習得させるための指導方法の継続的な工夫・改善を図る。 ②県立学校未来創造推進事業のICT機器を活用し、生徒が主体的に学び合う授業作りを推進する。
	3 生徒の家庭学習時間が増え、定着するよう工夫した指導を実践しているか。 生徒・保護者:計画的な家庭学習ができているか。	A a a	C c c	C c d	B a b	B b c	B c c	教:「十分」「そうしている」が94.6%(87.8)。 生:「出来ている」が52.6%(51.1)。 保:「出来ている」が51.8%(47.9)。 【生徒保護者の評価ポイント微増】	・家庭学習時間はアンケートの結果向上しているが、十分に学習できていると考えていない生徒が多数いる。 ①効率的な学習方法の指導を継続し、学習時間の充実を図る。 ②「自主学習の記録」を活用し、生徒が時間の自己管理を出来るようにする。
	4 生徒の実態や課題に応じて、学力を向上させるために、積極的に取り組んでいるか。 生徒・保護者:生徒の実態に応じて学力を向上させる取り組みに満足しているか。	A a a	A a a	A a a	A a a	A a a	A a a	教:「十分」「そうしている」が97.3%(95.1)。 生:「満足している」が94.7%(92.5)。 保:「取り組んでいる」が79.2%(80.5)。 【生徒の評価ポイント微増】	・実態や課題を明確にし、動機を与える機会となる場面を増やし、学力向上のための方策を検証し続ける。 ①1年次の選抜クラスについて継続的に検証する。 ②習熟度別授業、類型クラスの在り方について検討する。
	5 長期休業中の課外や土曜補習の成果が上がるよう、様々な工夫をして取り組んでいるか。 生徒:全体的に満足しているか。 保護者:効果があるか。	A a a	A a a	A a b	A a a	A a a	A a a	教:「十分」「そうしている」が86.1%(80.5)。 生:「満足している」が92.2%(87.0)。 保:「効果がある」が90.5%(87.5)。 【三者とも5%前後向上し、高い満足度】	・長期休業中の課外や土曜補習、学校開放について学力向上につながるよう組織的に取り組んでいく。 ①教科内で課外の実施方法や教材、内容等を研究する。 ②平常課外について学年内で情報交換を図り計画を立案する。
進路指導の充実	6 生徒の適性や希望などを十分に把握しながら、適切な進路指導を実践しているか。 生徒・保護者:主体的な進路選択をする上で、本校の進路に関する援助に満足しているか。	A a b	A a a	A b a	A a a	A a a	B b b	教:「十分」「そうしている」が92.1%(95.2)。 生:「満足している」が96.3%(94.4)。 保:「満足している」が63.7%(61.7)。 【向上傾向だが、保護者への支援が今後の課題】	・保護者向けの進路情報を的確に発信し、相談体制の充実を図る。生徒に対しては、キャリア教育を継続・推進していく。 ①ホームページ等を活用して保護者へ進路情報等を提供していく。 ②職業進路講演会や大学出前講義の充実を図るとともに、総合的学習の時間等を利用し、大学・学部・学科研究を充実させる。
教科外教育活動の活発化	7 部活動を通じた人づくりにむけ、積極的な指導を実践しているか。 生徒:部・同好会活動について、積極的に参加しているか。 保護者:部活動・同好会に対する学校の取り組みをどう思うか。	A a a	A a a	A a a	B b a	A b a	A a a	教:「十分」「そうしている」が84.2%(88.1)。 生:「参加している」が73.2%(68.5)。 保:「活発である」が75.4%(77.7)。 【概ね高い満足度】	・学業と部活動が両立できる指導計画の作成、悩み等の相談を充実させ、部活動の継続を推進する。 ①部活動顧問会議・職員会議等で情報交換やルール作りをする。 ②部活動・土曜補習の計画をバランス良く入れていく。
	8 生徒が学校行事や生徒会行事には積極的に参加し、充実感を友人とともに共有できるよう積極的に指導しているか。 生徒:満足しているか。 保護者:子息の満足度はどうか。	A a a	A a a	A a a	A a a	A a a	A a a	教:「十分」「そうしている」が94.7%(97.6)。 生:「満足している」が89.0%(89.8)。 保:「満足」が91.1%(94.1)。 【全体的に高い満足度】	・各行事において、生徒がより一層主体的に計画・運営・実施が出来るように組織的に推進していく。 ①各行事の日程や内容など、生徒が活動しやすい環境を作る。 ②ホームページに学校行事等を公開し、保護者や地域に本校の様子を発信していく。
総括的評価	9 生徒が充実した学校生活を送れるよう、適切な指導・援助を実践しているか。 生徒:現在の足高での学校生活に満足しているか。 保護者:本校に入学させて良かったと思っているか。	A a a	A a a	A a a	A a a	A a a	A a a	教:「十分」「そうしている」が100%(100)。 生:「満足している」が86%(88.6)。 保:「良かった」が94.5%(96.4)。 【全体的に高い満足度】	・全ての生徒の学力向上、進路希望実現のために、授業改善、課外、補習、SSH、県立学校未来創造事業等を組織的・計画的に推進する。 ①より充実した授業のために、授業公開・授業研究を実施する。 ②面接週間や教育相談体制の充実を図る。
連携 教育相談 生徒指導	10 保護者との連携に努めているか。 保護者:教職員との連携に満足しているか。	A (92.1%)	/	/	/	/	A (73.7%)	教:「十分」「そうしている」が92.1%。 保:「満足している」が73.7%。 【概ね高い満足度】	・保護者との連携に努め、個に合った指導ができるようにする。 ①電話等での連絡や学級懇談・保護者面談等を通じて情報交換を密に行い、連携を深める。
	11 生徒が相談しやすい雰囲気作りができているか。 生徒:相談しやすい雰囲気があるか。	/	A (79.8%)	B (69.4%)	A (77.6%)	A (75.7%)	/	生:相談しやすい」が75.7%。 【概ね高い満足度】	・生徒が相談しやすい雰囲気作りに努める。 ①相談の時間や担当を、面接週間や担任等に限らず、必要に応じて対応できる体制を作る。
	12 マナーや規範意識を育む指導ができているか。 保護者:教職員との連携に満足しているか。	/	/	/	/	/	A (72.9%)	保:「満足している」が72.9%。 【概ね高い満足度】	・保護者との共通理解や連携のもとに、マナーや規範意識を育む指導を推進する。 ①交通マナーやスマートフォン等の使用をはじめ日常生活全般で、適切な振る舞いができるような様々な機会を捉えての指導を継続する。

評価基準	生徒・保護者 アンケートの①②合計の回答率	教員 アンケートの①②合計の回答率
	70%以上 A (十分に成果があった)	80%以上 A (十分努力している)
	50%以上70%未満 B (成果があった)	60%以上80%未満 B (努力している)
	30%以上50%未満 C (少し成果があった)	40%以上60%未満 C (あまり努力していない)
	30%未満 D (成果がなかった)	40%未満 D (努力していない)

*評価対象「連携・教育相談・生徒指導」の11~12の項目は、今年度の新たな設問なので、中段・下段の小文字はありません。

*アンケート結果のアルファベットは次の通り。
上段:平成26年度(大文字)
中段:平成25年度(小文字)
下段:平成24年度(小文字)